加工食品

# 青森県　新郷村ふるさと活性化公社
# 『ヨーグルトをアメリカへ、青森県内初輸出』

【主な品目】

ヨーグルト、生キャラせんべい

【主な輸出先国・地域】

香港、米国

【輸出取組の概要】

- ◆ 県内有志企業で青森県輸出促進協議会を発足（青森県中小企業団体中央会、ジェトロ青森も支援）し、米国で青森フェアを開催し販路開拓。
- ◆ 青森フェアから派生したネットワークを活かしニューヨークやシアトルでの販路を拡大。

【輸出実績】（平成28年度より飲むヨーグルトをアメリカに輸出開始）

※アメリカ向けヨーグルトの輸出額

| | 輸出額(万円) | 輸出量(t) | 出荷時期 |
|---|---|---|---|
| 平成28年度 | 200 | 2.5 | 通年 |

【取り組む際に生じた課題】

- 賞味期限がヨーグルトは17日間と短く、輸出には向かないと考えていた。
- 現地の店頭販売価格が日本の3倍以上と高値になることを懸念。

【生じた課題への対応】

- 空輸から冷凍状態での船便輸送に切り替え、賞味期限が大幅に延長。
- 高値であっても市場によっては健康志向の高まりで商品力を評価。
- 動物検疫証明書の作成や、アメリカ輸入業者によるVS permit（獣疫輸入許可）取得で商流も整う。

【対応の結果】

- 青森県内企業とともに、地道な規制対応やマーケティングを行うことでニューヨークやシアトルへの販路を開拓した。
- 冷凍状態での船便輸送に切り替えることで賞味期限が大幅に延長、かつ商品力が高く評価され継続輸出につながった。

【今後の課題・展望】

- 米国食品安全強化法への対応でPCQI（予防管理適格者）有資格者による食品安全計画を策定、米国の規制対応も引き続きフォローしていく。
- マーケットや規制情報等を把握しつつプロモーション活動も続けながら、継続輸出は元より新規販路を開拓。

NYで販売された新郷村「飲むヨーグルト」

青森県輸出促進協議会によるアメリカでの青森フェアの様子

【活用した支援・施策】 県やジェトロなどの商談会、ジェトロ新輸出大国コンソーシアムなど

【ウェブサイト】 http://www.marumarushingo.com/

【連絡先】 担当者名：角岸、TEL：0178-78-2511